

アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	上ノ国町アイヌ施策推進事業
2 事業の種類	(文化振興事業) (地域・産業振興事業) (コミュニティ活動支援事業) の別
3 事業の目的	改めて浮き彫りになった上ノ国町でのアイヌと和人の共生の歴史を情報発信することで、アイヌの伝統と文化を保存、継承するとともに、アイヌに対する国民の理解を深め、アイヌの誇りが尊重される地域の実現を目指していく。
4 事業の概要	<p><b>【各事業共通】</b></p> <p>○事業実施主体 上ノ国町</p> <p>○事業の実施場所 北海道檜山郡上ノ国町</p> <p>○事業の内容と考え方 (1)文化振興事業 ■和人とアイヌの山城ミュージアム整備事業</p> <p>○事業実施主体 上ノ国町</p> <p>○事業の実施場所 北海道檜山郡上ノ国町字大留地内</p> <p>○事業の実施期間 交付決定日～令和9年3月31日</p> <p>○事業の内容と考え方 アイヌ資料や御遺骨を収蔵する上ノ国調査整備センターは、昭和26(1951)年に建設された木造の上ノ国中学校が廃校した後、平成8年度から利用している施設である。 現状では上ノ国調査整備センターの老朽化が著しいため、遊休施設(閉店パチンコ施設)をミュージアムのコア施設としてアイヌ資料の展示・保管・整理作業を行う施設として改修及び一部新設を予定している。 また、当初アイヌ御遺骨をコア施設に保管する予定であったが、地域に縁のあるアイヌ民族から勝山館跡で発見された御遺骨であることから、勝山館跡周辺での保管を希望する意見を頂いている。具体的には、武田信広が祀られる夷王山神社とコシャマイン慰霊祭会場の中間にあたる勝山館跡ガイダンス施設周辺にコア施設と連携するサテライト施設を設置し、和人とアイヌの共生の歴史を伝えるアイヌ御遺骨及び重要文化財の保管・展示施設を予定している。 事業は、令和7・8年度に基本計画の策定、令和8年度基本設計、令和9年度実施設計・建物購入、令和10・11年度整備工事といったスケジュールで執り進める予定である。</p> <p>※事業において施設整備等を含む場合 ・施設整備の場所及び用地の概要</p> <p><b>【施設整備の場所】</b></p> <p>①閉店パチンコ施設(檜山郡上ノ国町字大留158-2他) 用地の概要:町有地、敷地面積4974.184㎡, 既存建物:民間所有、764.051㎡(R9年度購入予定)</p> <p>②勝山館跡ガイダンス施設周辺(檜山郡上ノ国町字勝山427) 用地の概要:町有地</p> <p>・規模及び構造(図面添付)</p>

別添資料を参照

・施設内容(別表2による)

※今後の検討で決定するため、現時点での見込みを記載。

・利用計画(別表3による)

※今後の検討で決定するため、現時点での見込みを記載記。

・維持管理費の収支計画(別表4による)

※今後の検討で決定するため、現時点では記載なし。

・施設の整備完了予想図

※R7・8の基本計画の策定において提示するため、現時点では記載なし。

・附近見取図(図面添付)



・配置図

※R7・8の基本計画の策定において提示するため、現時点では記載なし。

・同種又は類似の施設の数及び利用状況

・機材導入の必要性 \*

※今後の検討で決定するため、現時点では記載なし。

・機材の種類 \*

※今後の検討で決定するため、現時点では記載なし。

・保管場所 \*

新設する施設を予定している。

・見積書、カタログなど価格を示す書類 \*

\* 機材の導入を行う場合

※記載なし

<p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p>	<p>4-1アイヌ文化の保存又は継承に資する事業</p> <p>■地域のアイヌ文化記録保存事業 アイヌ3大慰霊祭に位置づけられる「コシャマイン慰霊祭」の所作や活動内容のほか、町内に点在するアイヌゆかりの地や聞き取りを通じて、地域におけるアイヌ文化を記録保存し、アイヌ文化の継承に努める。</p> <p>■和人とアイヌの山城ミュージアム整備事業 アイヌ資料や御遺骨を収蔵する上之国館調査整備センターは、昭和26(1951)年に建設された木造の上ノ国中学校が廃校した後、平成8年度から利用している施設である。 現状において上之国館調査整備センターの老朽化が著しいため、遊休施設(閉店パチンコ施設)を活用し、アイヌ資料の展示・保管・整理作業を行う施設として改修及び一部新設を行い、積極的かつ適切なアイヌ資料の展示・保管及び御遺骨の保管を予定している。 当初は、閉店パチンコ施設周辺の一か所に集約することとしていたが、アイヌ御遺骨の保管場所について、勝山館跡で活動していたアイヌであることから発見場所である勝山館跡に保管したいという要望が地元縁のあるアイヌよりあった。 また、具体的な場所としてはアイヌと和人の共生の歴史を伝えるため、武田信広を祀った夷王山神社とコシャマイン慰霊祭の中間地点の勝山館跡ガイダンス施設周辺にアイヌ御遺骨と副葬品が含まれる重要文化財出土品の保管を兼ねた慰霊施設の建設をコア施設と連携するサテライト施設として予定している。 事業は、令和7・8年度に基本計画の策定、令和8年度基本設計、令和9年度実施設計、令和10・11年度整備工事といったスケジュールで執り進める予定である。</p> <p>■和人とアイヌの山城ミュージアム建物購入 上之国館調査整備センターの老朽化が著しいため、遊休施設(閉店パチンコ施設)を利活用し、アイヌ資料の展示・保管・整理作業を行う施設とするため、ミュージアムに利活用する既存建物を令和9年度に購入する。</p> <p>4-3観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>■地域のアイヌ文化普及啓発看板設置 上ノ国町に隣接する江差町・木古内町・松前町の町境に設置される「和人文化発祥の地」の看板について、先住民としてのアイヌの存在を示すため、看板の内容を地域におけるアイヌ文化を伝える内容に変更する。</p>
----------------------------	--

6 事業の成果目標等	
(1)成果目標の達成に向けた工程	<p>(1)文化振興事業</p> <p>■地域のアイヌ文化記録保存事業 地域のアイヌ文化をデジタルデータで記録保存し、後世に継承することを目的に実施する。作成したデータは、デジタルアーカイブ等で公開して地域のアイヌ文化の特徴をわかりやすく伝える。</p> <p>■和人とアイヌの山城ミュージアム整備事業 アイヌと和人の山城ミュージアムの建設によって、上ノ国町のアイヌ文化の特徴である「アイヌと和人の共生の歴史」を来訪者へ伝え、先住民であるアイヌの活動をわかりやすく周知していく。</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>■地域のアイヌ文化普及啓発看板設置 地域におけるアイヌ文化の普及啓発を目的に地域に縁のあるアイヌ団体のコシャミン慰霊祭実行委員会と協議し、効果的な看板を設置する。</p> <p>■地域のアイヌ文化普及啓発パンフレット製作 地域におけるアイヌ文化の普及啓発を目的にパンフレットを作成し、刊行物で配布するだけでなく、WEB上で公開して町内外の方へ地域のアイヌ文化をPRする。</p>
(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)	<p>(1)文化振興事業</p> <p>■地域のアイヌ文化記録保存事業 (基準年度)令和7年度 35,000件/年間 (中間年度)令和9年度 40,000件/年間 (最終年度)令和11年度 45,000件/年間</p> <p>■和人とアイヌの山城ミュージアム整備事業 (基準年度)令和7年度 1,000人/年間 (中間年度)令和9年度 1,500人/年間 (最終年度)令和11年度 2,000人/年間</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>■地域のアイヌ文化普及啓発看板設置 (基準年度)令和8年度 3,250人/年間 (中間年度)令和9年度 3,500人/年間 (最終年度)令和11年度 4,000人/年間</p> <p>■地域のアイヌ文化普及啓発パンフレット製作 (基準年度)令和8年度 37,500件/年間 (中間年度)令和9年度 40,000件/年間 (最終年度)令和11年度 45,000件/年間</p>
(3)成果目標の確認方法	<p>(1)文化振興事業</p> <p>■地域のアイヌ文化記録保存事業 地域におけるアイヌ文化の継承を目的にアイヌ関連の資料の記録保存を行い、上ノ国町のアイヌ資料を掲載するデジタルアーカイブ「かみのくにまるっこまんま!! デジタルミュージアム」の閲覧数で効果を確認する。</p> <p>■和人とアイヌの山城ミュージアム整備事業 地域におけるアイヌ文化の普及啓発を目的にアイヌ資料を展示・保管するミュージアムを設置し、上ノ国町を訪れる来訪者の人数の増減を重要文化財旧笹浪</p>

	<p>家住宅の入館者数で効果を確認する。</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>■地域のアイヌ文化普及啓発看板設置 地域におけるアイヌ文化の普及啓発を目的に看板を設置し、上ノ国町を訪れる来訪者の人数の増減を勝山館跡ガイダンス施設の入館者数で効果を確認する。</p> <p>■地域のアイヌ文化普及啓発パンフレット製作 地域におけるアイヌ文化の普及啓発を目的にパンフレットを作成し、上ノ国町のアイヌ資料を掲載するデジタルアーカイブ「かみのくにまるっこまんま!!デジタルミュージアム」の閲覧数で効果を確認する。</p>
<p>7 地域 の 概 要</p>	
<p>(1)地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題</p>	<p>北海道南西部に位置する上ノ国町においては、現在目に見える形でアイヌの存在を確認することが難しい。</p> <p>一方で、町内に所在する国指定史跡上之国館跡(花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡)で、発掘調査によって室町時代の 15～16 世紀にアイヌと和人が共生していた歴史のほか、勝山館跡廃絶直後における江戸時代の 17 世紀初めには、ニシン漁で繁栄した重要文化財旧笹浪家住宅周辺の発掘調査でイクパスイ(捧酒箸)、ポンク(弓)及び骨角器のアイヌ資料が出土している。</p> <p>その中でも象徴的な発見は、勝山館跡後方の夷王山墳墓群で和人墓とアイヌ墓が隣り合うように検出され、従来のアイヌと和人の二項対立と異なる関係性が明らかとなっている。また、アイヌ墓からは副葬品の他、御遺骨も発見され、上之国館調査整備センターで安置されている。その他、10 万点を超える出土遺物は、北海道南西部における当時の生活や本州と北海道の交易・物資の流通、アイヌと和人の関係を解明する上で欠かせない資料と評価され、平成 20 年7月 10 日付で 921 点が重要文化財「北海道上ノ国勝山館跡出土品」に指定されている。</p> <p>17 世紀初めの資料については、16 世紀中ごろに和人地となった上ノ国において、アイヌの活動を知る上で極めて貴重な資料であることから令和5年 11 月 28 日に道指定文化財「勝山館跡宮ノ沢右岸出土品」の指定を受けている。</p> <p>さらに、檜山管内では唯一のアイヌの慰霊祭「コシャマイン慰霊祭」(主催:コシャマイン慰霊祭実行委員会)が毎年7月第一土曜日に勝山館跡周辺で執り行われており、アイヌと地域住民との交流が行われている。</p> <p>このように上ノ国町は、和人と関わりながら生活していたアイヌの歴史を伝える貴重な資料が数多く残っているにもかかわらず、アイヌをテーマにした情報発信は十分とはいえない現状にある。そのため、上ノ国町の地域性を示すアイヌと和人の共生の歴史を体現する歴史資料を展示し、アイヌ文化の情報発信を行うことが急務となっている。</p> <p>しかしながら、これら多くの歴史資料の収蔵と展示の拠点となっている上之国館調査整備センターについては老朽化が著しいため、適切なアイヌ資料の保存活用が可能な施設の建設を行い、アイヌ文化を語る上で欠かすことのできない上ノ国町におけるアイヌと和人の共生の歴史の情報発信やアイヌ御遺骨の適切な保管に努めるものである。</p>
<p>(2)施設等の管理運営体制</p>	<p>上ノ国町教育委員会</p>
<p>(3)アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制</p>	<p>コシャマイン慰霊祭実行委員会(H5 年設立)</p> <p>上ノ国観光ガイド協会(H25 設立)</p>

8 収支予算

(1)収入の部

(単位：円)

区分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (前年度精算額)	比較増減	
			増	減
国庫補助金	49,700,000	9,534,336	40,165,664	0
市町村負担金	12,426,860	2,383,584	10,043,276	0
その他	0	0	0	0
計	62,126,860	11,917,920	50,208,940	0

(2)支出の部

(単位：円)

経費区分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (前年度精算額)	比較増減	
			増	減
(1)文化振興事業	60,968,560	11,917,920	49,050,640	0
報酬	160,000	232,000	0	-72000
旅費	2,475,560	1,818,920	656,640	0
需用費（消耗品費）	55,000	55,000	0	0
委託費	58,278,000	9,812,000	48,466,000	0
備品購入費	0	0	0	0
(2)地域・産業振興事業	1,158,300	0	1,158,300	0
委託費	1,158,300	0	1,158,300	0
(3)コミュニティ活動支援事業	0	0	0	0
工事請負費	0	0	0	0
合計	62,126,860	11,917,920	50,208,940	0
報酬	160,000	232,000	0	-72000
旅費	2,475,560	1,818,920	656,640	0
需用費（消耗品費）	55,000	55000	0	0
委託費	59,436,300	9,812,000	49,624,300	0
工事請負費	0	0	0	0
備品購入費	0	0	0	0